

## 2 学力向上アクションプラン

### 横浜市立都田小学校 令和3年度 学力向上アクションプラン

#### 1 中期学校経営方針

##### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
はばたけ都田の子 ～元気・勇気・本気～ ○学ぶ楽しさを知り、共に高めあう子を育てます。(知) ○自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。(徳)(公)(開) ○心と体を鍛え、健やかな子を育てます。(体)	〈言語能力〉 〈自分づくりに関する能力〉 〈持続可能な社会の創造に貢献する力〉

##### (2) 中期取組目標

中期取組目標
○子ども、家庭、地域と豊かに関わる中で、 ・全教職員が学校経営の主体者であるという意識をもち、学校教育目標実現に向け、愛される学校づくりを推進します。 ・一人ひとりの子どもが、学ぶ・できる楽しさを実感できる授業づくりを推進し、学力の向上を目指します。 ・子どもが思いやりをもち、互いのよさを認め合える「誰にも優しい学校」づくりを目指します。 ・小中一貫教育推進ブロックや家庭・地域と連携し、地域に根ざした学校づくりを推進します。 ○行事や研究をPDCAサイクルで推進し、改善点を生かした計画を立案することで、職員の帰属意識を高め、責任のある教育活動を展開します。

##### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 (学習指導)	①児童が自分の思いや考えを自分の言葉で伝えていけるよう、各教科で言語表現や図・表などを活用した表現活動を意識的に取り入れ、表現力を伸ばす。②見方・考え方を働かせて学ぶ児童の姿を目指した指導のあり方について、重点研を通して研究する。
担当 研究推進部 評価委員会	

#### 2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

本校の実態として、市の平均までなかなか届かない、学習への支援が多く必要である状況がある。

- 理科・社会** ここ数年にわたり少しずつ向上が見られる。  
社会科では市の平均を超え、理科も市の平均まであとわずかというところまで向上してきている。
- 国語** 全体としてまだ低く、特に基礎問題で正答率が低い。  
「読む」や「書く」で正答率が低くなる。  
→文章を構成していく力、思いに合わせた言葉を選ぶ語彙力の不足が感じられる。
- 算数** 徐々に市の平均との差が開いてきているように見える。  
思考力を問う活用問題での正答率が低い。  
学力分布をみると、C、D層が6割を超えている。D層の割合自体は減ってきている。

学習意欲から見ると、全体としては変わらず意欲は保っている。その中でも社会や理科が高くなっている。  
昨年一年間コロナ禍での休校や、制限された活動での学習だったため、じっくりと考えたり、粘り強く向き合ったりという姿勢が弱まっていることが心配される。十分に学習内容が定着しているのかを見極めていく必要がある。家庭での学習習慣を見直す契機にはなったため、家庭とも連携を深めていくことも大切になってくる。

### 3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣をつくる態度</li> <li>・主体性・積極性</li> <li>・地域を愛する気持ち</li> <li>・自分なりのイメージをもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の願いや思いをもって、活動や人に進んで関わることができるようにする。</li> <li>・活動を通して感じたことを話したり、書いたりする機会を多くもち、言葉にして伝えることができるようにする。また、友達の話をしっかり聞くことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の振り返りを行い、次にやりたいことや準備することのイメージをもつことができる。</li> <li>・地域の方と関わりをもつことで、自分たちの生活している地域に関心をもつことができる。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことを言葉にする</li> <li>・身近な語彙の豊かさ</li> <li>・相手の思いを受け止めて聞く力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちたんけんや野菜を育てる活動の中で、地域の方々と関わり、都田のまちのよさに気付くことができるようにする。</li> <li>・考えや感じたことを表す言葉の多様性に気付かせ、自分の思いを伝える際に用いることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びや学校行事に向けた活動の中で、「これからどうなるか」「何を伝えたいか」「相手が伝えたいことは何だろうか」と考えて伝え合い、自分なりのイメージをもつことができるようにする。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活の中での協調性</li> <li>・他者を理解する態度・自己を理解する姿勢</li> <li>・自分なりのイメージをもつ力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない言葉はこまめに辞書で意味を調べたり、既習の漢字、言葉を積極的に使うようにしたりして、語彙を増やしていく。</li> <li>・既習事項を丁寧に確認したり、思考の時間を確保したりすることで、自分のイメージをもったり、表現しようとする意欲を高めたりできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の活動の中で、考えを伝えあう機会を多く設け、自分の思いを表現したり、相手の考えに触れたりできるようにする。</li> <li>・多くの考えに触れることで、自分とは異なる他者を理解し認めようとする態度を育てる。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝える内容を明確にする力</li> <li>・感情語彙の豊かさ</li> <li>・事実等を正確に理解する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい言葉に出会ったときに、辞書で意味を調べたり、積極的に使うようにしたりして、語彙を増やしていく。</li> <li>・個々の違いや多様な意見があることに価値をおき、自己や他者のよさを認めることができる集団づくりをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同思考や話し合いの際に、自分の考えをもつ時間を確保し、事実等を正確に理解したり、自分事としてとらえたりできるようにする。</li> <li>・自分の考えを他者に伝えることを積極的に行うことで、考えを広げることができるようにする。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活へ画する姿勢</li> <li>・自然や文化に感動する心</li> <li>・思いや考えを伝え合う力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの際、わからないことを調べたり、質問したりする時間を確保することで事実を正確に理解したうえで自分の考えをもつことができるようにする。</li> <li>・自然や文化に触れる際、自分自身で体験することで、思いをもって関わることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動や日々の生活を通して、自分たちが学校のために何ができるかを考え、計画を立てたり、実行したりできるようにする。</li> <li>・相手の立場になって、どのような方法で説明をすると自分の考えが伝わりやすいか考え、表現する。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事実等を解釈し自分の考えを形成する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を生かして説明したり、考えを伝え合ったりする機会を多く設け、自分なりの考えを表現することができるようにする。</li> <li>・文化や自然に触れる前の事前学習を十分に行い、より関心をもつことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠をもとに説明したり、式と図を用いて説明したりしながら、自分の考えを的確に表現することができるようにする。</li> <li>・委員会活動などで、学校の中心となって活動する経験を積み重ね、学校生活へ意欲的に参画する態度を育てる。</li> </ul>
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣をつくる態度</li> <li>・他者を理解する態度・自己を理解する姿勢</li> <li>・感じたことを言葉にする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しを持たせながら活動させることを繰り返し行い、自分で考えて行動できることを増やす。</li> <li>・発表の仕方や聞き方の約束を徹底し、約束を守った話し合いを行えるようにする。</li> <li>・安心して自分の考えを伝え合う経験を積ませることで、他者との考え方の違いにも気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の活動の中で、考えを発表する機会を多く設け、自分の思いを表現したり、相手の考えに触れたりできるようにする。</li> <li>・多くの考えに触れることで、自分とは異なる他者を理解し認めようとする態度を育てる。</li> </ul>